



基本理念

1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心とところをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

JUSTICE

自らを変える!! 明日を創る!! **イーストイノベーション**

ジェイアール・イーストユニオン
 発行者 菅野 一位
 編集者 教 宣 部
 〒105-0021
 東京都港区東新橋 2-8-28
 TEL(JR) 057-7333
 TEL(NTT) 03-6452-9687
 ホームページ検索
 「JREユニオン」

【21イースト春闘】妥結

定期昇給の実施(昇給係数2)

基準内賃金の1人当たり平均増加額:約3,200円

新型コロナウイルス感染症拡大に、現場で懸命に働く者に報いること、そのモチベーションを維持しつつも、アフターコロナでの会社の持続的発展に拘った苦渋の決断!

今次春闘申し入れについては、JR連合の春闘方針に基づき、2月8日開催した第7回中央委員会・第8回定期大会で確立し、2月10日、申1号及び、申2号の申入れを行った。

今次春闘では、JR連合を結成して初めてJR各単組とグループ労組の方針を一体化した「ONE TEAM」で臨むこととし、JR産業を取り巻く現下の危機的状況を踏まえ、「JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守る」ことを最優先に取り組むこととした。JREユニオンは昨年発出した「会社と共に!」のなかで、困難な状況を労使が一体となり乗り越える為に、今何を為すべきか、今後の会社の維持・発展に対し責任ある立場を明確化した。今次春闘は当初から厳しい交渉が予想され、将来的にも大きな影響を及ぼすものと考えられていた。また、社員の中には雇用に対する不安もあり、社員の離職率も上がっているように感じられることから、申1号の賃金引き上げ要求は、定期昇給の実施およびグループ会社社

員を含む完全雇用の実施を併せて、月例賃金改善の2%相当の諸労働条件改善要求申2号を提出し、その趣旨を踏まえた議論を求めてきた。

結果、申1号は妥結日3月18日までの3回の交渉と、申2号は3月30日の交渉開催となつている。今回会社は賃金改定の回答時に併せて、新しい生活様式応援のためJRE MALLの社員向け割引商品を拡充することや、令和4年度社宅入居期間が15年以上となる社員の期間制限を1年間延長すること

を打ち出してきた。定期昇給といった部分とは別の条件に関する回答は、目下の経営状況を鑑みたくえでの最大限の回答であると判断した。この改正を提示・回答した経緯には、私たちがこの間、春闘に合わせた諸労働条件の改善要求を積み重ねた結果とも取ることが出来る。引き続き、労使協議の大切さを訴えるとともに、「申2号」による要求を実現に向けての議論を深めていかなければならない。

申1号「賃金引き上げの要求」に関する交渉

定期昇給の実施(昇給係数2)

交渉の経過では、今年度までの7年連続の賃金改定は大変ありがたく思うと会社に対し感謝の意を表しつつも、当方の主張は、先行きが不透明の中ではあるが、社員としての使命感や変革としての使命感や変革2027達成に向けたチャレンジ精神をしっかりと評価するたためにも、定期昇給の実施を行なっていただきたいと強く訴えた。また、ベースアップは将来的にも影響が大きく、世間動向や会社の現状を見据えた対応が必要であることから、難しい局面であることを認識した中

「妥結内容」

- 1 令和3年4月1日現在、満55歳未満の社員定期昇給を実施し、その際の昇給係数は2とする。
- 2 前項の清算については、令和3年6月25日(金)以降、準備でき次第とする。

※新たなライフスタイルに対する総合的な処遇改善

- 新しい生活様式応援のため、JRE MALLにおいて社員向け割引商品を拡充する。
- 令和4年度に社宅居住期間が15年以上となる社員について期間制限を1年間延長する。

申2号「諸労働条件の改善の要求」に向けた交渉

同交渉は3月30日に開催され、要求項目の実現には至らなかったものの、あらためて労使がこの先の多くの課題を乗り越えていくための議論が重要であるとの認識は共有できたものと考ええる。こうした提言が、アフターコロナの働き方の見直し・改善実現に繋がることは間違いない。交渉の中では、保存休暇使途などについての事由を不妊治療などにも拡大してはどうかといった点や、今後の人口減少社会を踏まえ定年延長やシニア世代の活用といった将来にわたる問題なども提案し、「会社と共に」考える交渉となった。最近の安全問題について経営協議会を開催し問題を共有したいと進言し、会社から協約に則り開催したいとの返答をいただいた。また、最後に、コロナ禍で先行きが見通せない状況が続いているが、業績が向上きに改善し、経営状況が安定した際には、相応の処遇を求めて参りたいとの考えを改めて述べ、交渉は終了した。

東日本大震災から10年

声明を発音

J R連合およびJ R Eユニオンは3月11日、「私たちは大震災を決して忘れず、持続的、自立的な復興を支え続けます」東日本大震災から10年を迎えるにあたっての「声明」を発出した。声明では冒頭、お亡くなりになった方々の御霊にあらためて哀

悼の意を表するとともに、被災されたすべての方々に対して、心よりお見舞いを申し上げた。また、震災発生後、救援物資の輸送や緊急支援カンパ、連合被災地救援ボランティアに積極的に参加するなどの、全組合員の総力を挙げた被災地の支援に取り組

んできたこと、B R T化された区間を除き最後まで不通となっていた常磐線(富岡〜浪江間)が昨年3月に再開するなど、被災したJ Rの路線の復旧も進んだこと、公益財団法人オイスカが主催する「海岸林再生プロジェクト」にも積極的に参加し、現在も組合員と家族によるボランティア活動を展開していることなどを紹介している。

10年の間に復興は確実に前進しているものの、未曾有の災禍による傷跡はきわめて深く、ソフト面、ハード面ともに課題が多く残っている。私たちは東日本大震災を決して忘れず、風化させることなく、今後も被災者、被災地に寄り添った助け合い、支え合いの活動を継続していくとともに、大震災で得られた教訓を生かし、わが国の社会、生活を支える安全な鉄道サービスを提供し、持続的、自立的な復興を支え続ける決意である。

私たちは大震災を決して忘れず、持続的、自立的な復興を支え続けます
—東日本大震災から10年を迎えるにあたっての声明—

一瞬にして2万人近い人命を奪った東日本大震災から10年の歳月が経過しました。あらためてお亡くなりになった方々の御霊に哀悼の意を表するとともに、被災されたすべての方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。

月日が経っても、大切な人を失い、生活基盤を破壊された方々の悲しみが癒えることはありません。私たちは、被災された方々に寄り添い、思いを馳せて、できる限りの助け合い、支え合いの活動を進めてきました。

私たちは大震災の発生後、救援物資の輸送や緊急支援カンパ、連合被災地救援ボランティアに積極的に参加するなど、全組合員の総力を挙げた被災地の支援に取り組んできました。また、B R T化された区間を除き最後まで不通となっていた常磐線(富岡〜浪江間)が昨年3月に再開するなど、被災したJ Rの路線の復旧も進みました。このほか、公益財団法人オイスカが主催する宮城県名取市の「海岸林再生プロジェクト」にも積極的に参加し、現在も組合員と家族によるボランティア活動を展開しているところです。

10年の間に復興は確実に前進しているものの、未曾有の災禍による傷跡はきわめて深く、ソフト面、ハード面ともに課題が多く残っています。被災者、被災地の立場から、真の生活再建や地方創生につながる持続的、自立的な復興を実感できるよう取り組む必要があると考えます。また、各地で毎年のように発生し、今後も想定される地震や水害など大規模な自然災害に対して、大震災の教訓を徹底して生かし、危機管理能力を高め、防災、減災の対策を強化することが求められます。さらに、人類が直面する新型コロナウイルス感染症への対策においても、大震災の教訓に学び、難局を克服し、次なる危機にも備え、新たな社会づくりにつなげていかなければなりません。

私たちは東日本大震災を決して忘れず、風化させることなく、今後も被災者、被災地に寄り添った助け合い、支え合いの活動を継続していくとともに、大震災で得られた教訓を生かし、わが国の社会、生活を支える安全な鉄道サービスを提供し、持続的、自立的な復興を支え続ける決意を改めて表明いたします。

2021年3月11日
日本鉄道労働組合連合会 (J R連合)
ジェイアール・イーストユニオン (J R Eユニオン)

少ない掛金で安心のサポート
JR私傷病共済

J R連合の互助制度。私傷病での欠勤による減収分をサポートします。2021年度(8月)の新規加入・増口の取り組みを強化しています。一口4千円(二口まで)

※詳細は担当まで!

7月期更新!
全国交通共済の新規加入・増口の取り組みを強化します。
交通共済は、J R及び関連会社に働く仲間の福祉の向上を図ることを目的として、組合員とその家族、そして仲間のために助け合う相互扶助を理念とし、安心と生活をサポートしています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます
フレッシュな仲間を心より歓迎します



<https://youtu.be/VbVIfcCU1SM>



歓迎のメッセージを動画で公開中。ぜひご覧ください!
「グッド」ボタンとシェアもよろしく!! いいね!